

特集

歯から始まる

健康づくり

「食べる喜び」は「生きる喜び」

11月5日、小倉南歯科医院の先生をお招きして、「口腔ケア」をテーマに院内研修を実施しました。

「口腔ケア」の代表的なものは、私たちが食後に行う「歯みがき」です。毎日、何気なく行っている「歯みがき」は、単に虫歯予防だけが目的でないことが、今回の研修で良く分かりました。

私たちの「口」には、「食べる」「話す」「呼吸する」「笑う」など、様々な役割があり



ます。これらすべての役割を長持ちさせるために、歯をみがくのです。そのなかでも「食べる」とは、栄養を補給するためだけでなく、日常生活の中における大きな「楽しみ」のひとつでもあります。そして、「楽しく食べる」ことは、脳にも良い刺激を与えるのだそうです。実際に当院でも、「食べる」訓練を始めて、心も体もみるみる健康になっていかれた患者さんがいらつしました。

一人でも多くの患者さんに、「美味しいものを食べられるって幸せ」と感じていただきたいと思えます。そのためにも、さあ、今日も口腔ケアを頑張らしましょう！

最後になりましたが、お忙しい中、とても熱心に指導及びご協力いただきました小倉南歯科医院の方々に、心からお礼申し上げます。

口腔ケアとは？

狭い意味では、口腔清掃(口の中の汚れ、歯に付着した汚れを除くこと)を指し、広い意味では、口腔清掃だけではなく、加齢や病気によって衰えてきた口の機能のリハビリテーション

ンなども含まれます。また、口腔ケアの意義として、口や手指の機能訓練、日常生活リズムの確立、生活意欲の向上、人間(家族)関係の確立などが挙げられます。適切な口腔ケアによって、生活の質が維持・向上され、介護負担が軽減すると言われています。

病棟紹介 特殊疾患療養病棟Ⅱ

心のこもった 看護が モットー

2階の「特殊疾患療養病棟Ⅰ」に続き、11月1日から、3階も「医療療養病棟」から「特殊疾患療養病棟Ⅱ」へと変更されました。心機一転、気持ちも新たにスタートです。

特殊疾患療養病棟Ⅱでは、長期にわたる人工呼吸器管理が必要な患者さんや肢体不自由な重度障害をお持ちの患者さんを対象に、原因となった疾患の治療を継続しながら、併発症に対する適切な治療を行います。また、手厚い看護を長期間ご提供できるようにになりました。

入院されている患者さんのほとんどが、車椅子やベッド上で生活されています。そのため、日常生活に少しでも変化や刺激をと、病棟の廊下には四季折々の壁紙を飾り、病棟壁新聞(月刊)では、患者さんの誕生日やレクリエーションを紹介し、「少しでも楽しく生活していただければ」と日々奮闘しています。



これからも「心のこもった看護の提供」を心がけ、患者の皆さんに満足していただけるサービスを提供できるように、スタッフ一同努力していきます。

通所リハビリテーション日記

レクリエーションがもたらす 様々な効能



「打つわよ〜」

「任せて、任せて」

通所リハビリテーションでは、日々様々なレクリエーション活動を行っています。現在行っているレクリエーションは、遊びを通して、生活の活性化を図ることを目標としています。

レクリエーションに参加しながら、「人と人とのつながり」を築き、「楽しみ」や「生きがい」を見つけていただければと考えています。そして、その「楽しみ」や「生きがい」を感じることが、利用者の皆さんの「参加したい」という意欲の向上につながるのではないのでしょうか。これを「自発性の向上(依存心の軽減)」と言います。

そのほかに挙げられるレクリエーションの効能としては、「できるという自信(能力の再発見)」や「前回より上手くできたという達成感」、「みんなで行っているという一体感」です。そのため、利用者全員が楽しく、満足し

た時間を共感できるようなレクリエーションを目指しています。

レクリエーションの中で人気があるもののひとつに「風船バレー」があります。チームに分かれて対戦するため、自然にチームワークが生まれ、「ほら、来たよ」「打ち返して」などの掛け声が飛び交います。一試合終了後には、皆さんクタクタになりながらも、楽しそうな表情を見せてくれます。勝ったチームは喜んだ顔を、負けたチームは「次回は頑張るぞ」という顔を。

今後も、こうしたレクリエーションを豊富に取り入れていきたいと思っています。そして、実績を積み重ねていくことで、利用者が喜び、生きる意欲を増進させるとともに、機能回復などにも効果のあるレクリエーションをご提供できるように考えています。

トピックス 一人ひとりに合わせた 栄養管理を！

栄養ケアマネージメントを始めました

2005年10月1日から、介護保険制度の改正に伴い、食費に関する患者さんの自己負担が始まりました。この食費の自己負担化とともに、栄養改善のための「栄養ケアマネージメント」が、法律上義務付けられることになっていきます。

「栄養ケアマネージメント」とは、患者さん一人ひとりが高齢化社会を明るく元気に過ごすことができるように「栄養士と他のスタッフが協同で、栄養状態を評価し、身体状況を良好に保てるように支援すること」です。

高齢者の方々が入院する理由は様々です。その理由のひとつに、脳血管疾患の後遺症が挙げられます。食事が困難になり、低栄養状態や脱水症にかかりやすくなってしまうのです。そのようなときには、きちん



と栄養が管理された食事を取ることで、「生活機能の維持」「体力増強」を図る必要があります。また、見た目や彩りに工夫を凝らすことで、「食べる喜び」を味わえるようにすることも大切です。

各人に合わせて、個別の栄養ケアを行います。食事に関してのご要望や意見などがございましたら、お気軽にお申し付けください。

理念 誠意・信頼・安心

- 1. 患者さんの意志と権利を尊重した医療の提供
- 2. 患者さんと医療情報を共有し、患者さん本位の誠実な医療の推進
- 3. 質の高い医療を提供するために職員の教育・設備の安全・保守管理の徹底
- 4. 患者さんが継続して、一貫した受診が出来るよう地域医療機関との緊密な連携